

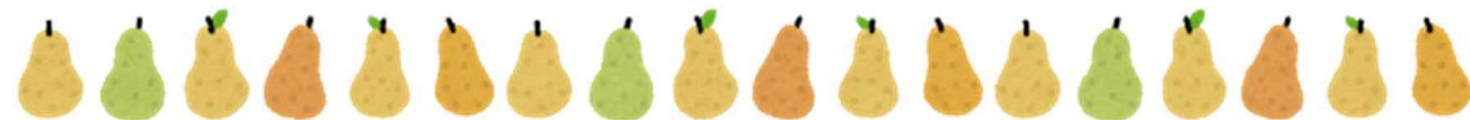


発行先の各機関にアンケートのご協力をお願い



NETWORKたまは多摩地域の精神保健福祉のネットワークづくりを目的として、情報を発信しております。これまで各機関において、どのように活用して頂いているか、今後のご希望等を把握したく、今回、発行先の各機関にアンケートを実施させていただきます。どうかご協力頂きますようお願いいたします。アンケートは10月号「NETWORKたま」送付の際に、添付いたしております。

令和6年11月30日(土)までにご回答頂きますようお願いいたします。



《次号以降のご案内》

★「NETWORK たま」は多摩地域の精神保健福祉関係機関からの情報を提供しています。

(1) 掲載をご希望の場合

次号『NETWORK たま』は2024年11月号です(2024年10月末発行予定)。記事の掲載をご希望の機関は、2024年10月4日(金曜日)までに郵送、FAX、メールのいずれかで、当センター広報計画担当へ原稿をお送りください。

広報計画担当「NETWORKたま」担当者宛と明記してください。

原稿に間違いがあると発送が遅れたり、ご迷惑をおかけしてしまうことがあります。ご寄稿前に内容や誤字脱字等のご確認をお願いします。

また、住所を問合せ先にする場合は、必ず郵便番号もお書き添えください。原則、先着順に掲載いたします。なお、掲載希望多数の場合は、お載せできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 今後の発行の予定

今年度の次号以降の発行は、2025年1月、3月です。当センターホームページもご覧ください。

(URL https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tamasou/fukyu_kouhou/nettama.html)

《『NETWORK たま』メール配信のお願い》

現在、情報紙『NETWORK たま』は、ご希望の各機関に、メール便でお届けしていましたが、諸事情により、郵送で送付いたします。経費節減や保存管理の利便性があることの観点から、ご協力いただける機関にはE-mailによる配信を行っております。

ご協力いただける機関がございましたら、当センター広報援助課あて(E-mail S1144202@section.metro.tokyo.jp)

『NETWORK たま メール配信希望』の件名でメールをお送りください。その際、現在の送付先リストと照合するため、「機関名」と「住所」を本文に記入してください。紙ベースの送付を継続して希望される機関には、従来どおり郵送等でお送りします。

また、紙ベースの送付・メール配信共に希望されない機関は、お手数ですが、広報援助課までお知らせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



一人ひとりと生きるまち。



東京都

NETWORKたま

2024年10月 第252号

10月



発行：東京都立多摩総合精神保健福祉センター
〒206-0036東京都多摩市中沢2-1-3 TEL042-376-1111 (代表)

イベントは、諸事情により中止になる場合がございますので、参加される場合は事前に主催者側へご確認をお願いします。



イベントのお知らせ

社会福祉法人ゆいのもり福祉協会 2024年度 講演会

ひきこもり勉強会 日常の関わりと成長 ～家族が取り組みやすいこと～

現代社会がひきこもりの一つの原因であることを考えると、一方的に社会に適応させる支援ではなく、ひきこもっている方の人権を守りながら、社会とのつながりのきっかけを作っていく支援が求められます。日々多数の相談支援を積み重ねている田口さんに、家族支援を中心に具体的な話を伺い、ひきこもりについて考えていきます。

■日時■ 2024年10月19日(土)
14時～16時30分

■定員■ 45名

■開場■ 13時30分 入場無料

■会場■ アキシマエンス 校舎棟202～205
東京都昭島市つつじが丘3-3-15

「ひきこもりの回復にとって大切なこと、それは親子の愛情を立て直し保持し続けること。そのために家族会がある」

■プロフィール■

新潟県出身。看護師として大学病院などで勤務後、29歳でさいたま市へ転居。2008年全国ひきこもりKHJ親の会の埼玉支部に参加。2009年に埼玉支部をNPO法人化し代表に就任。月例会、学習会、埼玉県委託事業(個別相談、CRAFT認知行動療法を応用した相談支援、無料電話相談)、居場所、兄弟姉妹の会、B型就労支援機関との連携などの取組を拡充し、日々精力的に活動を行っている。

■著書■

「親亡き後のマネーぷらん」「ひきこもりを生き抜く」「学習会記録集」

NPO法人KHJ埼玉
けやきの会 家族会
代表理事
講師 田口ゆりえ氏

■問い合わせ■

ゆいのもり福祉協会 浅川

連絡先 080-3177-7070

■オンライン申し込み■

右記QRコード読み込み
お申込みください→→→



■後援■ 昭島市

講演会「精神科医療における薬物療法」

講師：吉尾 隆先生

（公益財団法人住吉偕成会理事長、
昭和大学薬学部病院薬剤学講座客員教授）

日時：11月21日(木) 13:30～15:30

会場：町田市原町田4-24-6
せりがや会館4F第2会議室

参加費：会員、非会員ともに無料

会員以外の方も、さるびあ会事務所に問い合わせの上
ご参加いただけます。（匿名でも結構です。）

問合せ先 TEL：042-726-2031

（月）（木）10:00～15:00のみ

Email: info@sarubia.net

特定非営利活動法人 町田市精神障害者さるびあ会

多摩総合精神保健福祉センターからのお知らせ

令和6年度 第6回公開講座

アルコール依存症と医療の役割

～診断・治療・家族対応～

主にアルコール依存症について、専門外来を担当する医師の立場から疾患の成り立ち、
治療、対応の仕方についてお話しいたします。

日時：令和6年11月5日(火) 14:30～16:00

場所：多摩総合精神保健福祉センター 1階 研修室

講師：医療法人財団 青溪会 駒木野病院

副院長 田 亮介 氏

対象：多摩地域にお住まいの依存の問題に関心のあるご家族等と
関係機関職員

お問合せ・申し込み先：広報援助課 相談担当

- ◆事前申し込みが必要です。9月26日9時30分より受付を開始します。
- ◆申込者多数の場合、申込を締め切らせていただく場合がございます。
- ◆お電話の場合 042-376-6580まで（月～金 9:00～17:00）
- ◆オンライン参加の場合

<https://logoform.jp/form/tmgform/725329>

（右記二次元コード）にアクセスし、申し込みを行ってください。

- ◆メールの場合 tamasou_kouza@section.metro.tokyo.jp まで
（以下を記入してください。申込者多数で申込を締め切らせていた
いた場合や中止等の場合には、お電話でご連絡いたします。）



件名	第6回依存症公開講座
本文	① 11月5日「依存症と医療の役割」②お名前 ③連絡のつく電話番号 ④お住まいの市町村（一般都民の方）又はご所属（関係機関の方） ⑤当センターで相談されたことがある・ない



リーフレットのご案内

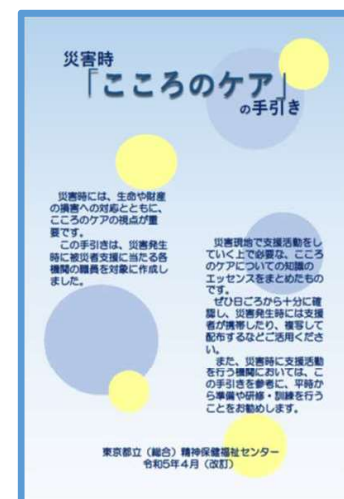
災害時「こころのケア」の手引き

この手引きは、災害発生時に被災者支援にあたる各機関の職員
を対象に作成しています。

災害現場で支援活動をしていく上で必要な、こころのケアに
ついての知識のエッセンスをまとめたものです。ぜひ、日ごろ
から十分に確認し、災害発生時には携帯したり、複写して配布
するなどご活用ください。

また、災害時に支援活動を行う機関においては、平時から、
この手引きを参考に準備をすすめて頂くことをお勧めします。

また、この手引きには、被災された方が参考となるストレス対
策や日常生活で留意した方がよいことなどが記載されています。



目次

- 1 初期対応のポイント
- 2 被災者の心身の反応と症状
- 3 被災した人に起こりうる心身の反応と症状
- 4 支援者の対応のポイント
- 5 災害時要援護者といわれる人への配慮
- 6 支援者自身の「こころのケア」
- 7 東京DPAT（東京都災害派遣精神医療チーム）

資料 被災された方へ

このような症状はありませんか？
ストレス対策として
症状が改善しない方へ
被災されたお子さんをお持ちの方へ
子どもによくみられるストレス反応
乳幼児 小学生 中学生
日常生活では次のことを心がけましょう
被災された高齢者の方へ
あなたの相談先と担当者の連絡先をメモしましょう。

ダウンロード

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/joho/rifuretto.files/R5sai_gaitebiki.pdf

